

56年度米消費拡大図画・作文標語コンクール ～見直そう日本の主食を～ 作文の部最優秀賞 田畑 名央江さん(12歳)

市では、年々減ってきているおいしい米の消費拡大をPRするため、市内の小中学生から図画・作文・標語を募集しました。審査の結果、作文の部最優秀賞には田畑名央江さん(城南小)の作文が選ばれました。その他の入選者は、つぎのとおりです。
図画・最優秀賞 鳴海達也君(城南小)
標語・優秀賞 小林由美さん(釈小)
〃 渡部美賀子さん(釈小)



今、日本では大変米が余っている。古米、古々米とどこの倉庫にもぎっしりとつまっていると聞いた。又、家畜のえさ米としても使われているという。このようなことはどうして起ったのだろう。農家の人が多く作りすぎたのだろうか。米がきらわれたのだろうかか。余り米が多いため、農家では減反や転作等をさせられている。前にテレビで心をこめて作った青々とした稲を刈った。それを見て、せっかくなさく育った稲をなぜこのようにしてしまうのだろうか。刈り取る農家の人の心、そしてこれから米を作りたくて農業を志す人がどんな気持ちでこのテレビを見たことだろう。
そう思っていた頃、米飯給食が始まった。私はその時、米の生産県である秋田がなぜもっと早く米飯給食を実現できなかったか不思議だった。米飯給食は大好きだ。何となく食べたという実感がする。米飯の日は、朝からみんな楽しみにして目が輝いている。
お米の味が本当にわかったのは、6年の調理実習の時だ。つば釜に洗ったお米を入れ、30分ほどおいた。その間、上手にたけるかしら、どんなご飯ができるのだろうかと思案していた。グツグツとにえる音、のりの匂い。何もかも初めての経験なので習った事を良く守ってたきあげた。できたご飯のおいしかったこと。ご飯つぶが光り、

おかずがいらなくらいおいしかった。熱い熱いご飯を、ホクホク言いながら食べるのは最高の気分だった。そしてご飯がこんなにおいしい物だと初めて知った。私は家に帰り、つば釜があったので作ってみんなに食べさせた。
米の本当のおいしさを正しく知ることができたので、私は前よりもご飯が好きになり、こんなにおいしい米をそまんにできないと思った。このように本当の米のおいしさをみんなが知ったら、もっと米の消費は多くなるのではないだろうか。小学校の1年からパン食に慣らされ、朝も手軽なパンですます人が多くなってきた。これでは大きくなるに従ってますます米飯から離れていってしまうと思う。それに米に対して誤った知識、例えば太るとか高血圧になるなどを正しく理解する必要がある。こうなると食事の用意をするお母さんの役目が大切になってくる。お母さんが正しい知識を持ち、日本人に合った正しい食生活を小さい時から習慣化させることが大事だと私は思う。そうする事によって大人になってからの米ばなれも少なくなってくるのではないだろうか。
だから、農家の人も喜ばれるようなおいしい米を作り、また私たちがこのお米の味をそこなわないように工夫して食べていくと、この問題は解決できるのではないのでしょうか。



以来約二千二百人の児童を送り出し、地域のみなさんに親しまれてきました。なお現在在籍している九人の児童は、毎日は本校方へ毎日元気に通っています。



先月二十六日から三日間、正札竹村で披露した広島と長崎の無残な姿をさらした写真展が開かれました。会場には親子づらえた写真展が、原爆の投下で焼けたられた被爆者の姿や、原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さを改めて認識していました。



被爆写真展が開かれる

フォト・ニュース

葛原分校でお別れ式

市内で最後の分校となった「成章小学校葛原分校」が先月いっぱいまで廃校となり、そのお別れの式が、先月二十八日、同校体育館で開かれました。同校は明治十一年に創設、

盲人卓球大会

当市では初めての盲人卓球大会が、先月二十一日、上川沿公民館で開かれ、熱戦が繰り広げられました。同大会は、大館市身障者連合会が主催したもので、身障者の親睦と健康増進が目的。ルールは鈴の入った球を転がして打ち合うもので、参加者は初めての卓球にとまどいながらも楽しんでいました。

春の防犯運動 四月二十五日～五月九日

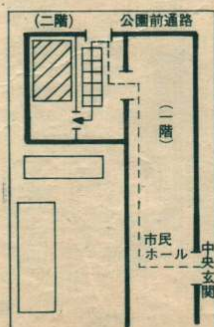
市役所福祉事務所に移転しました

管財課

(課長 佐藤 六蔵)

本庁舎の東側、桂城公園に通ずる道路に面した二階に「管財課」があります。管財課では、市有財産や財産区有財産である土地、建物、山林の管理をするほか、これらの取得、処分、交換などがあった場合の登記事務を行っています。

管財課では、どんな仕事をしていますか
市有財産のうち、学校、公営住宅、公民館および市道用地などは各課で管理しており、これらを除いた土地、建物のような不動産や地上権、有価証券、出資による権利、基金など、公用に供されていない財産の管理、取得処分を行っているほか、市にある六つの財産区の事務や、市有林を含む森林の育成管理が主な仕事です。
また、市民の皆さんが国有地の払下げを受けようとする場合、その土地が市の行政目的を達成する上で必要かどうかの意見を県から求められ、その判断を下す仕事もしています。
このほか、市有の不動産、動産、森林などの災害保険に関すること、市有の土地、建物の貸借契約に関すること、不用建物の解体処分に関するなども管財課の仕事です。
用地整理係では、どんな仕事を……
市や財産区が財産の取得、処分、交換など



山火事を 防止しよう

四月四日から五月三日までの一カ月間、山火事防止運動が展開されています。これからは山菜とてりや行楽などで入山される方は次のことを守り、山火事防止に努めましょう。
・たき火やタバコの吸いがら、マッチは完全に消すこと。

山林原野に火入れるときは許可を受けること
※山火事を発見したときは、消防署か市役所農林課へ連絡してください

教育・育児 テレフォン相談



(社団)大館青年会議所では、育児教育、健康問題等について専門家に よるテレフォン相談を実施します。
日時：5月9日(日) 午前10時～午後3時
電話：代表49-11152
対象者：幼児から中学生をもつ親、または小、中学生
内容：学校教育、家庭教育、精神衛生、社会福祉、しつけ、その他日常生活問題など
相談員：医師、学校長、調停委員ほか

市役所福祉事務所に移転しました 電話 四九一三二二一、四二一〇七六九